

## 学校教育自己診断の結果と分析について【令和6年12月実施分】

### 1. 全般について

学校教育自己診断の生徒回答数が493件と、R5の286件から大幅に増加した。今年度から紙面からGoogleフォームでの回答に変更としたため回答数の減少も見込んでいたが、一斉メールやGoogleクラスルームでの案内に加え、さらに案内文を全活動生に郵送したことで、実施案内の周知徹底ができた成果であると考えられる。ただし、回答数が増加したことでより多様な回答が集約できることになるため、今年度の学校教育自己診断は、傾向として全項目で肯定率は下がるものと考えられる。一方、保護者の回答数は200件（R5：202件）と、ほぼ同数であった。教員の回答数は31件（R5：45件）と減少している。

### 2. 学校に対する意識に関するもの

教員の「学校行事が魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている」の肯定率は77%（R5：76%）、生徒の「学校行事は楽しく参加できるように工夫されている」の肯定率が83%（R5：83%）と高い値で、教員の取組みが一定生徒に評価されているものの、「学校は楽しい」の項目について、生徒の肯定率が62%（R5：67%）、保護者の肯定率について59%（R5：61%）と減少しており、R5も併せて高くない値である。

一方、「安心して学校生活を送れている」の項目では肯定率が88%（R5：89%）と高い水準となっており、近年の通信制高校を選択する生徒は、通信制高校に「楽しさ」ではなく「安心感」を求めており、本校が行っている、生徒に寄り添ったきめ細かな支援・指導の成果が表れていると考える。

### 3. 生徒指導に関するもの

「先生の指導に納得できる」の項目について、生徒の肯定率は92%（R5：89%）、保護者の肯定率は87%（91%）といずれも高い肯定率となっている。

また、教員の「学校はカウンセリングマインドを取り入れた指導を行っている」の肯定率が83%（R5：67%）、「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる」の肯定率が81%（R5：76%）で、いずれも上昇しており、「安心して学校生活を送れている」の肯定率も高いことから、今年度は生徒情報の共有の仕方を見直し、適切な生徒支援へ繋ぐことができるよう「支援委員会」が機能的に動くことができている成果が表れていると考える。

一方、「気軽に質問や相談をすることができる先生がいる」の項目は肯定率が66%（R5：69%）と減少しているため、生徒は相談をすることへの敷居の高さを感じており、SCやSSWとも連携し、充実した相談体制について生徒へ周知する工夫が必要であると考えられる。

#### 4. 進路指導に関すること

生徒の「将来の進路や生きがいについて考える機会がある」の項目について、肯定率が73%と、R5の92%から大きく減少してしまった。また、保護者の「学校は、子どもに将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」についても、肯定率が69%となっており、R5の76%から減少している。

学校へ申し出た進学希望者・就職希望者に対しては、進路部において個別に決め細かな指導を徹底しているが、通信制という特性上、キャリア教育という点については弱いという現状がある。キャリア教育コーディネーターや関係機関と連携を取りながら、ホームルームなども活用して体系化したキャリア教育が行えるようにしていきたい。

#### 5. 学習指導に関すること

生徒の「レポートは自力で完成できる内容になっている」「レポート添削は学習の理解を深めるのに役立っている」の項目について、いずれも肯定率が93%（R5：95%）、92%（R5：90%）と、高い水準となっている。

スクーリングにおいても、生徒の「スクーリングの内容は分かりやすく、学習の手助けになっている」の肯定率が93%（R5：93%）と高く、保護者の「子どもは、スクーリングがわかりやすいと言っている」の項目が78%と、R5の66%から大きく上昇した。

教員の取組みが生徒に伝わり、スクーリングの評価について、生徒が保護者へ肯定的に伝える割合が増加したと考えられる。また、教員の「コンピュータ等の情報機器をスクーリング等で活用している」の項目で、肯定率が87%と、R5の76%から大きく上昇しており、ICTを活用した学習についても研究が進んでいることが成果に表れていると考える。

#### 6. 道徳・人権教育に関するもの

「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について、生徒の肯定率が81%（72%）、保護者の肯定率が78%（R5：81%）と高い値であり、教員の「道徳や人権に係る教育活動ができているかどうか」に関する複数の項目で、肯定率がいずれも80%以上となっているなど、教員の道徳・人権教育に対する意識は高く、生徒へ適切に指導できている成果であると考えられる。今後も道徳・人権教育について、より工夫して取り組んでいきたい。